

- 1.困った人 病んでいる人に 真心こもる幸仕
- 2.地域住民 地域医療機関に密着した医療
- 3.何人も平等に医療を受けられる病院

謹賀新年2022

院長 花園 公彦

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新春を迎えられたことお慶び申し上げます。昨年は一昨年から引き続き新型コロナウイルス感染症との戦いの一年でした。海外では医療崩壊を引き起こした国も多々あり、日本においても医療崩壊をギリギリ持ちこたえるという状況でした。この新型コロナウイルスに対応していく中で明らかになったことは、医療機関がそれぞれの規模や体制に合わせた役割分担の明確化ということです。これは例えば、高度医療の集約化や医療機関の集約化、効率的な患者情報の集積、医療における連携・支援の推進などです。袋井みつかわ病院も近隣の中東遠総合医療センターや磐田市立総合病院が、新型コロナ患者を受け入れながらも通常の医療が制限されることのないよう、病状が比較的安定している患者様の受け入れには迅速に対応し、両病院と情報の共有、連携を密にしていまいりました。医療機関がそれぞれの規模や体制に合わせた役割分担を明確にして対応することは「地域医療構想」の原点ですが、まさに新型コロナウイルス対応において一層具現化しました。人生100年時代に入り高齢者にとっては発病、治療、リハビリ、社会復帰を繰り返しながら人生を楽しむことになると思います。地域のご高齢の方を守るのは、「地域包括ケア」の充実と迅速な対応です。高齢者の割合が最も多くなる2040年にむけて医療、介護複合ニーズの変化にどう対応するかが問われることになります。袋井みつかわ病院は医療、介護、高齢者の住まい、生活支援等を一体化し「地域包括ヘルスケアシステム」として地域の特性に合わせた「地域医療構想」の再構築を進めていきたいと思っております。高度急性期医療から引き継いで在宅可能な状態にまで回復させる機能、軽度・中等度の急性疾患に対し直接在宅から入院を受け入れ、在宅医療を支援する機能、そして在宅の復帰が不可能な病気への対応、終末期の患者様の緩和ケアなど高度急性期を除いたすべての医療に対応していけるような体制を整えていきたいと思っております。



1 病棟

1病棟では塗り絵に取り組む方が増えています。子供の遊びというイメージがある塗り絵ですが、絵柄を見て使う色を選び、色鉛筆を手で持って実際に色を塗るといった様々な行動が要求され、それを完成まで繰り返すため、実はかなり脳を働かせる作業です。大人のための塗り絵が近年ブームとなっていて、子供向けの塗り絵よりも細やかな描写となっています。浮世絵のような昔ながらの絵画や有名画家の作品を塗り絵にアレンジしたもの、美しい景色や植物・動物といった自然をモチーフにしたものなどが人気です。なにか趣味を持ちたいと考えている方は、一度「大人の塗り絵」に挑戦してみてください。



リハビリ

院内研究発表会を終えて

11月25日に院内研究発表会が開催されました。ここでは部署毎に日ごろのケアやリハビリテーション、提供する食事などの患者様が受ける医療や介護をより良いものにできるように取り組んだ研究結果が発表されます。

私は聴講者として参加しました。研究発表を通して他職種の考えや患者様に対する支援内容などを再認識することができました。

普段の患者様との関わりから現在の支援内容の良いところ・改善すべきところを振り返り、今後も質の良い医療・介護を患者様に提供できるよう努めてまいります。



職員募集

- 医師
- 正・准看護師
- 介護職

詳しいお問い合わせは ☎0538-49-2211 担当：事務長

求人の詳細はこちらへ



ブログも更新中



<https://www.mitsukawa-fukuroi.jp/>

医療法人社団 八洲会 袋井みづかわ病院

<http://www.mitsukawa-fukuroi.jp/>

住所 〒437-0004 静岡県袋井市友永1111

TEL 0538(49)2211(代) FAX 0538(49)2291

診療時間

平日 午前9:00～午後4:00